

鶴見区西部

地域高齢者に対する医療
や介護の相談窓口です

地域包括支援センター

せいぶ耳寄り情報



Vol.85

■“もしも”のときの救急カプセル

救急要請・搬送の実態

大阪市では前年と比べ、救急出動件数は 18,834 件(7.7%)、搬送人員は 208,615 人(12%)増加しています。これは、集計開始以来、最多となっています。下記は、令和 5 年度の大阪市の救急要請・搬送の実態です。

年間出動件数: 約 26 万件

出動頻度: 2.0 分に 1 件

利用頻度: 大阪市民 10.5 人に 1 人が救急車を利用

事故種別: 急病が第 1 位(約 18 万件)

年齢区分別の搬送人員: 65 歳以上が半数以上(約 11 万人、全体の 53.8%)

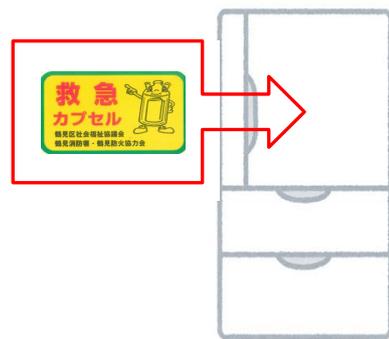


救急カプセルの活用

救急カプセルとは、救急搬送に必要なかかりつけ病院・持病などの情報を記した「**救急情報カード**」をカプセルに入れ、冷蔵庫に保管する取り組みです。これにより、自宅で具合が悪くなったとき、救急隊に必要な情報を伝え、もしものときに備えることができます。

対象者は、

- * 鶴見区在住のひとり暮らしの高齢者
- * 高齢者のみの世帯 * 障がいのある方 など



⇒ 裏面へつづく

